

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年9月6日(2007.9.6)

【公開番号】特開2006-33610(P2006-33610A)

【公開日】平成18年2月2日(2006.2.2)

【年通号数】公開・登録公報2006-005

【出願番号】特願2004-211962(P2004-211962)

【国際特許分類】

H 04 N 1/00 (2006.01)

G 06 F 13/00 (2006.01)

H 04 N 1/32 (2006.01)

H 04 N 1/387 (2006.01)

【F I】

H 04 N 1/00 1 0 7 Z

G 06 F 13/00 6 0 1 B

G 06 F 13/00 6 4 0

H 04 N 1/32 Z

H 04 N 1/387

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月20日(2007.7.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像データを入力する画像入力手段と、

複数の送信宛先を指定することが可能な送信宛先指定手段と、

前記送信宛先指定手段で指定された複数の送信宛先の全てが記述されている電子メール宛先フィールドと前記画像入力手段で入力された画像データとを含む電子メールデータを、前記送信宛先指定手段で指定された送信宛先毎に作成する電子メールデータ作成手段と、

前記電子メールデータ作成手段で作成した電子メールデータを前記送信宛先指定手段で指定された送信宛先毎に送信する送信手段と、

を備えることを特徴とする通信装置。

【請求項2】

前記送信宛先指定手段で指定された複数の送信宛先のうちの1宛先分の宛先を示す情報を前記画像入力手段で入力した画像データに付加する宛先情報付加手段を有し、前記電子メールデータ作成手段は、前記電子メール宛先フィールドと、前記宛先情報付加手段により宛先を示す情報が付加された画像データとに基づき電子メールデータを作成することを特徴とする請求項1に記載の通信装置。

【請求項3】

前記電子メールデータ作成手段は、前記画像入力手段で入力された画像データを、前記送信宛先指定手段で指定された複数の送信宛先毎に、サイズ、解像度又は圧縮方式の異なる画像データとなるように処理して電子メールデータを作成可能であることを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の通信装置。

【請求項4】

複数の送信宛先毎に扱える画像データに関する情報を記憶する記憶手段を有し、前記電子メールデータ作成手段は、前記送信宛先指定手段で指定した宛先に対応した前記画像データに関する情報に従って画像処理された画像データに基づき電子メールデータを作成することを特徴とする請求項1乃至請求項3のいずれか1項に記載の通信装置。

【請求項5】

前記送信手段は、前記電子メールデータ作成手段で作成した電子メールデータを、SMT Pサーバに対し、MAIL FROMコマンドで1つの送信宛先をセットして送信することを特徴とする請求項1乃至請求項4のいずれか1項に記載の通信装置。

【請求項6】

電子メールデータの送信宛先として複数の送信宛先を指定することが可能な送信宛先指定手段と、

前記送信宛先指定手段で指定された複数の送信宛先を、所定の宛先数を越えない複数の群に分割する分割手段と、

送信宛先指定手段で指定された複数の送信宛先の全てが記述されている電子メール宛先フィールドを含む電子メールデータを、前記分割手段で分割される群毎に作成する電子メールデータ作成手段と、

前記電子メールデータ作成手段で作成した電子メールデータを前記分割手段で分割される群毎に送信する送信手段と、

を備えることを特徴とする通信装置。

【請求項7】

前記分割手段は、前記所定の宛先数毎に前記複数の送信宛先を分割することを特徴とする請求項6に記載の通信装置。

【請求項8】

前記送信手段は、前記電子メールデータ作成手段で作成した電子メールデータを、SMT Pサーバに対し、MAIL FROMコマンドで前記分割手段で分割される1つの群に含まれる送信宛先を通知して送信することを特徴とする請求項6又は請求項7に記載の通信装置。

【請求項9】

前記送信宛先指定手段は、前記電子メール宛先フィールドのToフィールド、Ccフィールド及びBccフィールドにセットされるべき送信宛先を指定することを特徴とする請求項1乃至請求項8のいずれか1項に記載の通信装置。

【請求項10】

画像データを入力する画像入力工程と、

複数の送信宛先を指定する送信宛先指定工程と、

前記送信宛先指定工程で指定された複数の送信宛先の全てが記述されている電子メール宛先フィールドと前記画像入力工程で入力された画像データとを含む電子メールデータを、前記送信宛先指定工程で指定された送信宛先毎に作成する電子メールデータ作成工程と、

前記電子メールデータ作成工程で作成した電子メールデータを前記送信宛先指定工程で指定された送信宛先毎に送信する送信工程と、

を備えることを特徴とする通信方法。

【請求項11】

前記送信宛先指定工程で指定された複数の送信宛先のうちの1宛先分の宛先を示す情報を前記画像入力工程で入力した画像データに付加する宛先情報付加工工程を有し、前記電子メールデータ作成工程は、前記電子メール宛先フィールドと、前記宛先情報付加工工程により宛先を示す情報が付加された画像データとに基づき電子メールデータを作成することを特徴とする請求項10に記載の通信方法。

【請求項12】

前記電子メールデータ作成工程は、前記画像入力工程で入力された画像データを、前記送信宛先指定工程で入力された複数の送信宛先毎に、サイズ、解像度又は圧縮方式の異なる

る画像データとなるよう処理して電子メールデータを作成可能であることを特徴とする請求項10又は請求項11に記載の通信方法。

【請求項13】

複数の送信宛先毎に扱える画像データに関する情報を記憶する記憶工程を有し、前記電子メールデータ作成工程は、前記送信宛先指定工程で指定した宛先に対応した前記画像データに関する情報に従って画像処理された画像データに基づき電子メールデータを作成することを特徴とする請求項10乃至請求項12のいずれか1項に記載の通信方法。

【請求項14】

前記送信工程は、前記電子メールデータ作成手段で作成した電子メールデータを、SMT Pサーバに対し、MAIL FROMコマンドで1つの送信宛先をセットして送信することを特徴とする請求項10乃至請求項13のいずれか1項に記載の通信方法。

【請求項15】

電子メールデータの送信宛先として複数の送信宛先を指定する送信宛先指定工程と、前記送信宛先指定工程で指定された複数の送信宛先を、所定の宛先数を越えない複数の群に分割する分割工程と、

送信宛先指定工程で指定された複数の送信宛先の全てが記述されている電子メール宛先フィールドを含む電子メールデータを、前記分割工程で分割される群毎に作成する電子メールデータ作成工程と、

前記電子メールデータ作成工程で作成した電子メールデータを前記分割工程で分割される群毎に送信する送信工程と、

を備えることを特徴とする通信方法。

【請求項16】

前記分割工程は、前記所定の宛先数毎に前記複数の送信宛先を分割することを特徴とする請求項15に記載の通信方法。

【請求項17】

前記送信工程は、前記電子メールデータ作成工程で作成した電子メールデータを、SMT Pサーバに対し、MAIL FROMコマンドで前記分割工程で分割される1つの群に含まれる送信宛先を通知して送信することを特徴とする請求項15または16に記載の通信方法。

【請求項18】

前記送信宛先指定工程は、前記電子メール宛先フィールドのToフィールド、Ccフィールド及びBccフィールドにセットされるべき送信宛先を指定することを特徴とする請求項10乃至請求項17のいずれか1項に記載の通信方法。

【請求項19】

請求項10乃至請求項18のいずれか1項に記載の通信方法の各工程をコンピュータに実行させることを特徴とするコンピュータプログラム。

【請求項20】

請求項19に記載のコンピュータプログラムを格納したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上記課題を解決するために、本発明による通信装置は、画像データを入力する画像入力手段と、複数の送信宛先を指定することが可能な送信宛先指定手段と、前記送信宛先指定手段で指定された複数の送信宛先の全てが記述されている電子メール宛先フィールドと前記画像入力手段で入力された画像データとを含む電子メールデータを、前記送信宛先指定手段で指定された送信宛先毎に作成する電子メールデータ作成手段と、前記電子メールデ

ータ作成手段で作成した電子メールデータを前記送信宛先指定手段で指定された送信宛先毎に送信する送信手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、本発明による通信装置は、電子メールデータの送信宛先として複数の送信宛先を指定することが可能な送信宛先指定手段と、前記送信宛先指定手段で指定された複数の送信宛先を、所定の宛先数を越えない複数の群に分割する分割手段と、送信宛先指定手段で指定された複数の送信宛先の全てが記述されている電子メール宛先フィールドを含む電子メールデータを、前記分割手段で分割される群毎に作成する電子メールデータ作成手段と、前記電子メールデータ作成手段で作成した電子メールデータを前記分割手段で分割される群毎に送信する送信手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

さらに、本発明による通信方法は、画像データを入力する画像入力工程と、複数の送信宛先を指定する送信宛先指定工程と、前記送信宛先指定工程で指定された複数の送信宛先の全てが記述されている電子メール宛先フィールドと前記画像入力工程で入力された画像データとを含む電子メールデータを、前記送信宛先指定工程で指定された送信宛先毎に作成する電子メールデータ作成工程と、前記電子メールデータ作成工程で作成した電子メールデータを前記送信宛先指定工程で指定された送信宛先毎に送信する送信工程と、を備えることを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、本発明による通信方法は、電子メールデータの送信宛先として複数の送信宛先を指定する送信宛先指定工程と、前記送信宛先指定工程で指定された複数の送信宛先を、所定の宛先数を越えない複数の群に分割する分割工程と、送信宛先指定工程で指定された複数の送信宛先の全てが記述されている電子メール宛先フィールドを含む電子メールデータを、前記分割工程で分割される群毎に作成する電子メールデータ作成工程と、前記電子メールデータ作成工程で作成した電子メールデータを前記分割工程で分割される群毎に送信する送信工程と、を備えることを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

以上のような構成を備える本発明によれば、指定された複数の送信宛先の全てが電子メールフィールドに記述されている電子メールデータを送信宛先毎に作成して送信するので、送信宛先毎に異なる画像データを送信できるとともに他にどの送信宛先が指定されてい

たかを送信先で確認可能となる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

また、本発明によれば、メールサーバで扱える宛先数を越える送信宛先が指定されたとしてもその宛先数を越えないデータとして、しかも各送信先で他にどの送信宛先が指定されていたかを確認可能となる。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】通信装置、通信方法、コンピュータプログラム及びコンピュータ読み取り可能な記憶媒体

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、複数の送信宛先を指定して電子メールデータを送信するための通信装置、通信方法、コンピュータプログラム及びコンピュータ読み取り可能な記憶媒体に関する。